

銀漢亭日録



伊藤伊那男

る。

2月7日(日)▼午後、家で宮澤事務所の新年会。長女がメイン料理は取り寄せてあるが何か作ってほしいというので、鶏の香草焼、じやが芋とベーコンのカリカリ炒めなどを作る。午後、中野サンブラザで「春耕同人句会」あと、「炙谷」にて親睦会。帰宅すると、新年会続いており、少し参加。

8日(月)▼事業部、新年大会企画のご苦労さん会。十二人。大野田井蛙さん幹事で、酒、食物など持ち寄りあり。私も加わって酒盛り。橋野さん、俳句仲間の女性二人と来店。あと、井蛙さん他七人程で餃子屋。

9日(火)▼「火の会」八人。男は大塚凱君のみ。国会議員のT先生、「銀漢」二月号求めに。皆川文弘さん、先般質問した盤水先生のルーツや系図など調べてきて下さる。

10日(水)▼伊那出身の福沢さん(上農高校)、井蛙さん。たまたま会ったが親戚であることが分る。「俳壇」パーティーあとの水内慶太氏と「月の匣」の方々。山田真砂年さん、藤田直子さんなど。

11日(木)▼午後、孫の華子のピアノ教室の音楽会。成城ホール。歌、「エリーゼのために」。夕方、焼肉店「山五 成城店」にて幼稚園の親仲間と会食。大人十三人、子ども十人。

12日(金)▼休みの合間に閑散。坪井さんと久々話。二十二時閉める。発行所は校正、あと編集会議。

13日(土)▼十時、発行所にて「運営委員会」。午後の「銀漢本部句会」は、麹町区民会館和室、五十五名。あと、「さくら水産」にて親睦会。十数名。帰宅すると孫がチョコレート菓子を買って来

る。
14日(日)▼不穏な天候。高幡不動尊に着く頃には晴れる。盤水先生の墓参り。「春耕新年俳句大会」。あと祝宴。乾杯の発声。佐野の島田ヤスさんより、御子息の文夫さん作の皿、トマトなど戴く。佐渡の山城やえさんお元氣。あと恒例の蕎麦屋にて二次会。朝妻力さん、唐沢静男君……。

16日(火)▼阪西敦子さん〇歳の誕生会。何と、超結社で三十人ほど集まる。大西酔馬が肝入り。酒の持ち込みも多数。十九時から二十時半近くまで。

17日(水)▼宮澤、ジャマイカへ撮影に。八日間程と。店、「三水会」五人。「俳句」四月号「取り合わせ研究」の特集に「私が採る句、採らぬ句」二枚程。「俳句四季」四月号へ「花の歳時記」桃の花―のエッセイ四枚。武田さんに依頼し「銀漢」の三十句の桃の句を集めて貰う。

18日(木)▼「麻」の草野大作さん(池上稚人の「美林会」の仲間)。そこそこ忙しく。二十一時、「銀漢句会」あと二十一人。

19日(金)▼「蕨句会」あと四人。清人さん、鈴木忍さん他。井蛙さん来たので「大金星」に行き、守屋山登山のことなど。

22日(月)▼毎日新聞の鈴木琢磨さん、来月、宝島社から出る「大衆酒場の達人」という本に「銀漢亭」のことに触れたと。堀切克洋君、パリで句会をしていた方と吟行あと、店にて句会。後から、日下野由季さん合流。「鹿島吟行」あとの武田さん達。日経新聞の丸田さん(高校後輩)など。閑散。

23日(火)▼「萩句会」選句へ。皆川丈人さん近くに来たとして、声かけてくれる。十八時から、清人さんの中央大学離島研究会OBの集い。気仙沼から、牡蠣、ナマコ、ホタテなど到来。九人。他の客少

なく。そこへ坪内稔典さんとそのお弟子さんたち十数名来店。近く

の沖積社での集いのあとと。焼酎一升空けたあと、句相撲をするとして私も呼ばれて「皿」の題で。一回戦で敗退す。武田編集長、メタルワンの女性OB五人と来店(秋田正美、長谷川千何子、まゆみ、美佐……)。

24日(水)▼「雛句会」十人。来月から、相沢文子、太田うさぎさんに店に一日ずつ入って貰うことになる。皆川文弘さん。伊那出身の福沢さん、ウエルネスの目下女史と。

25日(木)▼鈴木でる緒さん久々。店閑散。二十二時半閉めて、井蛙、てる緒、いづみさんと「大金星」に寄る。

26日(金)▼店、「白熱句会」にて慶太、直子、佐怒賀、徳夫、哲彦さん(弘美さん休み)。発行所「金星句会」あと六人。客は、あっぱ人だけ……。

27日(土)▼十三時、日本橋。喫茶店で作句など。十四時、「与志喜」にて「纏句会」。あと、焼蛤、若筍と若布炊き合わせ。題の「魴鮒」の煮魚。握り。酒は「天狗舞」。あと、禪次、秋葉男さんと『そして京都』出版についての打ち合わせ。孫の男子二人インフルエンザ。龍正はB型で入院。亮介はA型と。家、嚴重警戒中。早めに寝る。

28日(日)▼四月号の原稿。華子の合唱団発表会で、風邪の孫二人と私が留守番。夜、スキヤキなどを用意。

29日(月)▼彗星集選評送り、四月号の執筆終了。店、「日本伝統俳句協会」の藤森さんの句会八人。「南風」の津川絵理子さん五人。明日の村上鞆彦君のお祝いに上京と「炎環」のはるかさん、「毎日俳句大賞」の会あと二人で。

3月1日(火)▼超閑散。二十一時過ぎに閉めて「天鴻餃子房」にい

るところへ、朝妻力さんより電話あり、「銀漢亭」の前にいると。

「俳人協会総会」と「村上鞆彦さん俳人協会新人賞祝賀会」のあとと。天鴻に来てもらう。力、宗一郎、小石、しなだしん、清人さん。

2日(水)▼朝妻力、三代川次郎さん、ゼロックス社OB会あと。「天好園」のまりあさんも。柴山つぐ子、中川冬紫子さん浅草の帰り。と。「宙句会」あと七人。

3日(木)▼店カウンタ―、雛祭とあつて、敦子、文子、肖子、うさぎ、文代、小石、恵……と並ぶ。藤井公認会計士久々。昔の仕事仲間。発行所「十六夜句会」。これも全部女性の句会。終わって十人店へ。あと十名程で餃子屋。男は私と井蛙。

4日(金)▼「大倉句会」あと十七人。あと「大金星」一人。何と！グジの唐揚げがある。隣の若いカップルに、バブルはどうして起こったか、どうして終わったか……などの講義。カップルの片割れが……美人であった。

5日(土)▼スクワール麹町にて「第三回井月忌俳句大会」。北村監督の金子兜太へのインタビュー映画、実に感動的。俳句大会は、選者十二人の内の七人の特選を「銀漢」が取る。親睦会のもと、伊那の白鳥市長他と二次会。ヘトヘト。

6日(日)▼中野サンプラザ八階にて「春耕同人句会」。あと、十三階スカイルームにて、窪田明句集『桜川』出版記念会。祝辞。あと、二十階にて二次会。帰路、新宿でちよつと飲んでしまう……。

7日(月)▼權未知子さん友人と。発行所「かさ、ぎ俳句勉強会」あと十三人。中島凌雲君出張で来て参加。松山さん、その他。權さん「五時間居ちゃった！」と。井蛙さん、井月忌の会の報告を信濃毎日新聞、中日新聞などに送ってくれる。